

女性のライフコース支援論Ⅰ 学習指導案

指導者

印

- 1 履修単位数 1 単位
- 2 実施日時 令和4年1月21日 第2時限
- 3 学 級 専攻科1年生(37名)
- 4 使用教科書 系統看護学講座 専門Ⅱ 母性看護学概論 医学書院
- 5 単 元 名 リプロダクティブヘルス/ライツに関する看護
- 6 単元設定の理由

リプロダクティブヘルスとは、「単に生殖の過程に病気や異常が存在しないだけでなく、生殖過程が身体的、精神的および社会的に完全に良好な状態で遂行されること」と定義されている。リプロダクティブヘルスにおける健康な状態とは、人々が希望する数の子どもを産み、性感染症のおそれなしに性的関係を持てることである。女性がリプロダクティブヘルスについて理解し、自己決定権をもつことを意識しているかどうかは、母性の健康を保持増進することに大きく影響する。看護者には、女性に対して、リプロダクティブヘルス/ライツについての正しい知識・技術を、その人の理解度に合わせてわかりやすく提供することが求められる。

対象学級は、周産期の女性に対する看護や母性の基盤となる概念についてはすでに履修している。しかし、リプロダクティブヘルスなどの概念に関してはイメージがしづらく、「難しいもの」と捉えてしまっている学生が多いのが現状である。対象学級は個人での発表は苦手で消極的だが、グループ学習やタブレット端末を使つての学習は比較的好きな学生が多い。そこで今回、リプロダクティブヘルスを阻害する課題についてグループ学習を行うことで、課題解決に向けた看護職としての役割について考えさせたいと思い、本単元を設定した。

7 単元の目標

- ・リプロダクティブヘルス/ライツについて理解し、今後のヘルスケアの課題を学ぶ。
- ・母性看護の対象者を看護するうえで重要なヘルスプロモーションの考え方を理解する。

8 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
リプロダクティブヘルス/ライツについて関心を持ち、対象者のもつ問題や援助について意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付ける。	リプロダクティブヘルス/ライツについて考え、実現のために必要な思考を深め、その成果を表現できる。	リプロダクティブヘルス/ライツ実現のために必要な情報を収集し、整理することができる。	リプロダクティブヘルス/ライツの概念を理解し、適切な指導・介入をするために必要な知識を身に付けている。

9 指導と評価の計画(8時間)

- 第1次 リプロダクティブヘルス/ライツの理解・・・2時間
 第2次 リプロダクティブヘルス/ライツの看護(調べ学習)・・・4時間
 第3次 リプロダクティブヘルス/ライツの看護(発表)・・・2時間(本時7, 8/8)

	【ねらい】・◆学習活動	評価の観点				評価規準・評価方法
		関	思	技	知	
第1次	リプロダクティブヘルス/ライツにおける主要の概念を理解し、近年の動向および課題について理解する。	●			●	ワークシート 観察 定期考査

第2次	リプロダクティブヘルス／ライツに関する課題から、解決や予防に必要な知識を理解し、表現することができる。	●	●	●	●	観察 ワークシート
第3次	リプロダクティブヘルス／ライツにかかわる課題から解決や予防に向けた介入について理解し、他者に分かりやすく発表することができる。		●		●	発表資料 観察 Forms

10 本時の指導目標

- (1) リプロダクティブヘルスに関する課題および解決・予防に向けた介入について理解する。
- (2) リプロダクティブヘルス実現のための看護職としての役割を根拠に基づいて考えることができる。

11 本時の展開

時間	学 習 活 動	指導上の留意点	学習活動における 具体の評価規準	評 価 方 法
導入 (5)	リプロダクティブヘルス／ライツの概念について復習する。 本時の学習目標・学習内容を知る。	前回までの授業の復習として、リプロダクティブヘルス／ライツの概念について確認する。 本時の学習目標・学習内容を掲示する。		
展開 (80)	各班でそれぞれの課題について学習した内容を、ICTを用いて発表する。	・各班で学習した内容をICTを用いて発表させる。(MetaMojiClassroomグループ学習モード) ・各班の発表時間は質疑応答も含めて10分とし、班内で進行やタイムキーパーを作り時間厳守させる。	リプロダクティブヘルス実現のための看護職としての役割についてグループとしての意見をまとめている。(思考・判断・表現)	発表資料 聞き取りシート
	Formsを開き、各課題に関連した小テストを解く。	・全ての班の発表後終了後に小テストを解かせる。(Forms)	リプロダクティブヘルスに関する課題および解決・予防に向けた介入について理解している。(知識・理解)	Forms
	Formsを開き、リプロダクティブヘルス実現のための看護職の役割について自分の考えを記入する。	・看護師の役割について考えさせ、記入させる。(Forms) ・数名の学生の意見を全体で共有する。	リプロダクティブヘルス実現のための看護職としての役割を考えている。(思考・判断・表現)	Forms
まとめ (5)	本時のまとめを行う。	リプロダクティブヘルス実現のために看護職としてどのように行動していく必要があるかを伝える。		